

海匝地区

少年少女剣道大会で けいこの成果を発揮

一月十一日、旭第二中学校体育館で、第十六回海匝地区少年少女剣道大会が行われました。

出場者は四九〇名で、団体戦には三四チームが参加しました。当町の各小学校も出場し、優秀な成績を収めました。

団体戦準優勝

白浜スポーツ少年団

個人戦

- 女子高学年の部(小五・六年)
 - 優勝 佐々木奈緒子(白小六)
 - 準優勝 山崎 恵美(南小六)
 - 三位 新井 由美(東小六)
- 女子低学年の部(小四以下)
 - 優勝 加瀬 成子(日小四)
 - 準優勝 半田よし美(〃)
 - 三位 越川美由紀(〃)
- 男子低学年の部(小四以下)
 - 優勝 椎名 大和(日小四)



野長の ひとりでござと

斉藤 讓

最近「新人類」という言葉がよく使われている。これは、現代の若者像を指す言葉で、一九六〇年代の高度経済成長期に生まれた世代をそれ以前の世代との対比においていわれる。

新人類以前に生まれた世代は、旧人類あるいは、オールドジャンズといわれている。両人類の間には、価値観、行動様式から、言葉の使い方まで明らかな相違がある。旧人類は、仕事や勝負にはくらくらいついていくという精神主義をもつけれど、パソコンなどは皮膚感覚的に受けつけないのに対し、新人類は、仕事人間になって働くなどは思いもよらない。メカ感覚も生まれながらに持っている。新人類は子供っぽいのではなく、旧人類のような大人にはなりたくない。と漠然と思っている世代である。こうした若者たちに対して、旧人類はコミュニケーションを結ぶ糸口はない。旧人類が管々として作り出してきた価値観、階層構造や行動パターンなどには一切こだわらず、自分を対象化し、演技化できる生活保守主義の若者たちのことを新人類というのである。以上が「新人類」

について用語辞典の解説するところである。

先月、前後して町民会館で町内の成人式と老人クラブ新年会が開催され、それぞれに出席した。今年成人式に参加した若者は、正に高度経済成長の時代に生まれ、豊かな物質文明の中で何不自由なく成長してきた階層である。一方新年会に参加した老人は、明治、大正、昭和の三代にわたり激動の中で身体をはり、耐乏の極を踏みながら今日の社会を築いてきた階層である。正に、新人類と旧人類の典型である。私は、それぞれに接し、

た。先輩からみれば僕達はいつまでたっても子供です。僕達は、新人類と呼ばれているが、新人類は、新人類なりに明日をめざして頑張ります。」

一方、老人代表は「私達は、健康を守り、社会のお荷物ではなく、家族や社会づくりの為にそれなりの役割りを果たしていこう。」

共に爽やかな挨拶であった。

私は、両人類は必ず接点がある。と確信した。

世代間の断絶は社会の歯車を狂わせる危険性をはらんでおり絶対にあつてはならないことである。

いま、青年、婦人、老人等の同じ階層での水平的なふれあいや活動が活発に行われているが、これからは老人から子供までを含めた垂直的なコミュニケーション活動がより重要である。

この役割を担うのは、まず家庭であり、そして集落であり大きくは行政である。



前列右から越川・椎名・加瀬・半田
後列右から新井・佐々木・山崎

